

N
03
005

ウィズセンター

女共同参画推進センター 情報誌

WIZt h

2 0 0 0
JANUARY

Vol. **5**



INDEX

- 男女共同参画フォーラム 女が変わる 男も変わる
- ウィズフェスティバル'99
- 登録団体紹介 私たちががんばってます
- 一日ウィズセンター 開設
- 男女共同参画社会作文 優秀賞受賞作品紹介
- 女性就職準備講座

岡山県男女共同参画推進センター (愛称:ウィズセンター)はこんなところです

男女共同参画社会づくりを推進していくための拠点施設として、県民のみなさんの取り組みをサポートします。
愛称の「ウィズセンター」には、「男女がともに」という意味が込められています。

1 情報を提供します

女性問題に関する図書・雑誌・ビデオの貸出をしています。

3 お気軽にご相談ください

女性の相談員がさまざまな悩み事や就業のご相談に応じます。

5 各種団体に活動の場を提供します

2 学習できます

女性問題や男女共同参画に関する各種講座を開催しています。

4 就業を応援します

就業に役立つ技術講習会・情報の提供を行っています。

6 こんな施設があります

交流サロン・情報コーナー・相談コーナー・会議室・作業室・保育室

男女共同参画フォーラム

『女が変わる 男も変わる』

～男女共同参画で織りなす 21世紀～

FORUM

11月14日(日)、ウィズセンターで男女共同参画フォーラム(実行委員会主催)が開催されました。

11月12日からスタートしたウィズフェスティバルのメインイベントとして約180人の参加者を集め、『女が変わる 男も変わる』というテーマで、船橋邦子さんによる基調講演やシンポジウムが行われました。

(同フォーラムは県民の公募で実行委員会をつくり、その中で意見を出し合い、実施されたものです。)



船橋 邦子

ふなばしくにこ

- ・大阪女子大学女性学研究センター教授
- ・佐賀県立女性センター・生涯学習センターアバンセ 初代館長
- ・アジア女性会議ネットワークコーディネーター
- ・大阪府男女協働推進連絡会議議長

「みなさん、こんにちは! コンパクトなスペースが、みなさんのパワーをより大きく感じさせますね。出会い、力を分かち合える女性センターというものは良いものだと、今、あらためて感じています。」
力の入った熱っぽい講演が始まりました。

男性のマネではダメ!

まず最初に船橋さんは、男女共同参画社会をつくるということは、男性の権利を女性が奪い取るのではなく、いかに新しい価値・新しい文化を造り上げていくかということであり、男性が良しとしてきた社会を、今度は女性が真似をして、女性の社会を造るのではないということを理解しなければならぬと説明されました。

女の子の文化と男の子の文化

「少年マンガの世界では、女性はセクハラの対象でしかありません。一方、男性は敵を倒すために武装し、ロマンを追い求めて、変身といえば科学を使って武装します。女性は科学に弱いとされ、武装はせず、魔法を使って夢を実現するなど、マンガの世界は、女の子の文化と男の子の文化が、明確に分けられています。」と事例をあげられ、「確かに必要な男女の区別はあるが、私たちが育ってきた環境の中には、あまりにも不必要な区別が多く存在します。学校に入学すると同時に、男の子と女の子の扱われ方や期待のかけられ方に差が出てきます。気がついた時には実力に差が生まれています。」と述べられました。

また、「女性が最も遅れている分野の一つがスポーツの分野といわれ、今でも女性は体力的に男性よりも劣っている人が多くいます。ボールを利き手で投げれば、確かに男の子の方がより遠くへ投げることができます。しかしそれは、の子は小さい時から遊びの中でボールを投げることを身につけているからで、利き手ではない方でボールを投げれば、女の子と男の子の差はグンと縮まるという結果が出ています。これもトレーニングの一つです。」と社会慣習・慣行のなかで、女の子と男の子を分け、女らしさ、男らしさを再生産していく日常的な行動様式を無くす必要性について強調されました。

毎日の点検が大事

また「近代社会以前から知識を創ってきたのは圧倒的に白人の男性であり、その知識を男女共学の大学で女性は座る権利だけを与えられて、男性中心の知識を学んできました。私たちが尊敬する哲学者も『女らしさ、男らしさ』という性別特性論を正当であると言い、そのことを学んだ私たちは『女らしさ』をいつも実行してきました。気がつけば意志を決定するような重要な場に女性はいないという状況ができあがっているのです。」と、このような近代の生んだ性別特性論が続いている限り現状は

変わらないこと、また、違いを強調することが性差別の大きな再生産の要因となることを説明され、「みなさん自身の中にある『男だから、女だから』という部分を毎日の日常のなかで点検していくことが大事です。」と話されました。

地球的な視点

男女共同参画社会基本法の問題点についてもいくつか述べられ、特に「現在の男女平等は、性別役割をなくす部分だけが注目されていますが、その部分だけでなく、世界規模的な平和教育と結びついた男女平等教育が必要だと思います。日本の男女共同参画は地球規模の視点を取り入れていかなければなりません。」平和とは戦争をしないということだけではなく、人間を差別して扱わないためにも、差別的なことを見抜く力をつけることが平和な社会を造り上げていくという平和教育を含めた男女平等教育が重要で、地球的な視点に立った国際協力の理念が明確に入っていないと指摘されました。

パートナーシップ

また「地方公共団体の責務」に記載されている「地方公共団体の区域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務

を有する」の部分が重要であると述べられ、「これからは住民が中心となった行動計画をつくる必要があります。みなさん自身が地域の実態調査を行い、何が地域のニーズなのか、しっかり分析して行動計画をつくるのが重要です。『町づくりの主人公は住民だ!』という気持ちで住民一人ひとりが政策提言を行い、本当の意味での行政と住民のパートナーシップで事業を展開していかなければならない。」と強調されました。

今、求められていること…

最後に船橋さんは、
「男女共同参画の行動計画は行政計画ではなく、企業、住民、自治体がともに、それぞれ責任を持って、つくりあげていかなければいけません。

これからは、みなさんが国民の責務として、住んでいる町をどのようにつくっていくのか。住民一人ひとりが、短期的な実施計画と長期的な基本計画の両方を持ち合わせた地域の総合計画の作成に関わっていくことが、男女共同参画社会づくりにおいて、今最も求められていることだと思います。その意味でも私たち一人ひとりが力をつける必要があります。女性センターは、まさにみなさんが社会変革の主体として力をつけ、形成されていく場所です。」と締めくくられました。

講 演に続き、船橋さんをコーディネーターに、池田武彦山陽新聞社論説主幹、西田三千代岡山弁護士会会長、岩瀬悦子ウィズセンター所長がパネリストとしてシンポジウムが開かれました。シンポジウムでの主な発言を紹介します。



池田

「この50年は企業を中心とした競争社会でした。私はその競争社会のなかで競争をしてきた人間であり、ある意味で、そのことをよしとしてきました。しかしこの競争社会の踏み台として女性は陰になっていました。この社会システムが行き詰まりを見せ、どのように変えていけばよいのか考えなければいけない時がきています。考えるのは男だけでも、女だけでもいけません。日本全体で、これで良いのが勉強していく必要があります。そのためにも女性には、経済と社会についてもっと勉強し、これらのことが自分に大きく影響していることを認識してもらいたいと思います。また、私は新聞記者として社会的弱者を

紙面に取り上げ、生かす努力をしていくことが使命であると考えています。」



西田

「男女共同参画社会基本法が施行され、私たちが岡山の地でのように取り組んでいけばよいか。法律というものは、つくられるという発想で、今まで与えられてきました。しかし、この度制定されたのは基本法であって、例えば家庭内暴力禁止といった個別の法律や条例がこれから必要になります。法律や条例は本来、作成の過程から私たちの意見・要求を入れ、法律は能動的に関わり、つくっていくものだ、と発想を変える良い機会だと思います。また、どのようなことでも、大きなことを一人で変えていくことは困難であり、その必要はありません。まず、身近なことから変えていけばよいのではないのでしょうか。性別役割分業であれ、職場での性差別、セクシュアルハラスメントであれ、見過ごしてきた問題や意識が「見えない制度」として今の現状をつくっていることを認識することが、現状を変え、新しい制度をつくっていく“もと”になると思います。」



岩瀬

「ウィズセンターの名前に象徴されるように、『女性だけでなく、男性も自身の生き方を見つめ直してもらいたい』という思いで取り組んでいます。女性だけでなく男性も性別の縛りを受けています。このため企業中心になりがちな男性の意識改革はもちろん、企業に対しても男女共同参画について理解を得る必要があると考えています。男女共同参画社会の実現のためには女性のエンパワメントや民間団体の力、役割が大変重要と考えています。このためにも勉強の機会・さまざまな情報の提供、就業の支援を行っていくとともに、女性の活動支援、ネットワークの拠点として、交流の場やシステムを提供していきます。」

船橋

「男性も、リストラで職を無くしたり、定年を迎えた人が、何をしてよいか分からないケースが増えています。高齢社会に入り、一人ひとりが、人生60年の後をどのように生きるのか問われています。」

ウィズフェスティバル'99

11月12日～14日にかけて、「ウィズフェスティバル'99」と題して、センターを拠点にさまざまな活動をしている団体・グループが工夫を凝らした楽しい企画を行いました。盛況だった3日間の一部を紹介します。



センター登録団体が日頃の活動を紹介します。



レクリエーションで楽しく交流



カラーチャラをつくらう！初めてマウスに触る人も多く、四苦八苦。



古着のリサイクル、さき織り体験にチャレンジ！



ワークショップや寸劇など、団体・グループが、さまざまな自主企画を行いました。



3日間を通して、交流サロンでは団体活動の記録や手作り作品の展示、チャリティーバザーが行われました。

With FESTIVAL 1999

ANTENNA

アンテナ

ウィズウィークを中心とした市町村の啓発事業

ウィズウィークに呼応して、男女がお互いを尊重しつつ責任を分かち合う男女共同参画社会の早期実現をめざした、さまざまな行事が県内の市町村で行われました。



- 1 岡山市... 11/16 岡山市女性大学修了生 自主研究レポート発表会
- 2 玉野市... 11/14 市民フォーラム (講演会、パネル展ほか)
... 11/16-17 パネル展
- 3 備前市... 11/13 いきいき女性セミナー (公開講座)
- 4 倉敷市... 11/11-17 女性が活躍する写真展
- 5 早島町... 11/11 講演会 「明日を素敵に生きるには」
- 6 真備町... 11/3 シンポジウム 「女性が男性と共に 創り上げる社会をめざして」 (講演会、 パネルディスカッション)
- 7 笠岡市... 11/13 女も男も共に歩む かさおか女性フォーラム
- 8 里庄町... 11/15 ウィズウィーク講演会
- 9 高梁市... 11/8 講演会 「新しい価値の創造」

- 10 新見市... 11/17 女性議会
- 11 大佐町... 11/27 女性のひろば 「知っておきたい 介護の仕方」
- 12 哲西町... 11/6 講演会 「男女共同参画社会」
- 13 久世町... 11/11 講演会 「男女共同参画社会を 考える」
- 14 津山市... 11/17 講演会 「男女共同参画社会 基本法成立」
- 15 久米町... 11/17 講演会 「大丈夫ですか？ あなたのまわり」
- 16 勝田町... 11/21 講演会 「女と男すてきに コミュニケーション」
- 17 奈義町... 11/14 講演会 「男女共同参画と 地域づくり」
- 18 勝北町... 11/16 女性模擬議会
- 19 美作町... 11/22 講演会 「ゴミ問題の実践活動」

登録団体
紹介

私たち、がんばってます!

おかやま女性国際交流会

昭和60年に始まった県の女性海外派遣事業の参加者をメンバーとする会で、国際交流活動を通して女性の視野を広げ、その成果を国内の活動に生かすことを目的としています。

ナイロビで開催された世界女性会議に参加したのをはじめ、北京会議にも参加し、世界の女性問題に目を向けてきました。県と友好関係にある中国の江西省や南オーストラリア州アデレードを訪問したり、内外からの訪問団との交流も積極的に行っています。県の財政状況の悪化にともない、平成8年度を最後に派遣事業は中止になりましたが、平成10年に初めて自主海外研修事業(アデレード)を計画し、施設等の見学のほか、友好提携5周年記念レセプションにも参加しま

した。平成12年にはさらに充実した内容の海外研修旅行を計画しています。

今後は、国内の同様の団体との情報交換などネットワーク化にも努め、一層国際交流に寄与したいと念願しています。さらに、県の女性海外派遣事業の一日も早い再開に向けて働きかけていきたいと考えています。



H11年度「秋の交流会」知事をかこんで

岡山市女性大学二期会“かがやき”

岡山市女性大学二期会“かがやき”は、岡山市女性大学二期を修了した女性たちが研修及び視察などを重ねていくことによって相互

の親睦をより深めることを目的として4年前にスタートしました。

ふれあいセンター・ケアハウス・他都市の女性センター等、研修、視察などを重ねることによって地域社会との情報交換をしながら

男女共同参画をめざし、グループとして、また個々に多岐にわたり行動を起こしつつあります。

時にはモンゴルの女性を招き「モンゴル民族の伝統文化を生かしながら生きる女性の生き方～岡山の女性たちは今～」と題して、私たち女性がともに知識を得るための研修会などを行い、ネットワークをはかりながら、健康、福祉はもとよりメディアなどからも受ける女性の地位など、これから起きてくるであろう課題に対しても大いに関心を持ち、会員全員でゆるやかに行動、活動していきたいと努力しています。



モンゴルの女性を招いて

岡山県農山漁村生活交流グループ協議会

当協議会は、昭和33年、農家・農村生活の向上を目指し、自主的に課題解決を図ろうとする女性たちが集まって活動を始め、昨年40周年を迎えました。

現在、県内各地方振興局ごとに9つの地方協議会があり、グループ数は261グループ、4,193人が所属しています。(平成11年7月31日現在)

この40年の間に、戦後の貧しい時代から、飽食・価値観多様化の時代へと農村生活だけでなく農村を取り巻く社会や経済情勢も大きく変化しました。これらの変化にあわせて、平成6年には「生活改善グ

ループ」から「生活交流グループ」へと改称するとともに、平成9年から活動スローガンも“夢のあるライフスタイル実現に向けて”とし、魅力ある農家経営、快適な農村生活の実現に向けた実践活動を進めています。



H11.11.22「生活交流グループのつどい」

WITH LIBRARY

ウィズライブラリー

読んでみませんか? おすすめの本

「そこが知りたい!」 そこが聞きたい! 男女共同参画社会基本法

- 船橋 邦子 著
- ウィメンズブックストア松香堂

男女共同参画社会をよりよく知るための手引き。



「コウノトリふわり」

- 山陽新聞社

「少子化」が止まらない。家族や地域のかたち、男女の役割分担、企業の意識はどう変わろうとしているのか…。少子化がもたらす時代相、多様化する価値観、日本社会システムの問題点を読者とともに探る好評の山陽新聞連載企画「コウノトリふわり」出版化。



一日ウィズセンター開設

“Ichimichi” With Center OPEN!!

11月28日(日) ● グリーンヒルズ津山

男女共同参画社会づくりを推進していくための総合的拠点施設としてのウィズセンターの機能を広く県内に波及させることを目的に、11月28日(日)、一日ウィズセンターを開催しました。晴天のなか300人を超える人々が、「グリーンヒルズ津山」にオープンしたウィズセンターに来館されました。

午前10時、津山地域女性活動推進センター世話人15名による合唱で幕開け!開会式の後、阿新・真庭・津山・勝英の地域女性活動推進センターによるステージ発表。さらに午後からはアトラクション、トークイベントが行われました。

また、ウィズセンターにある情報コーナー、総合相談コーナー、就業援助コーナーも設置し、新着図書を含めた人気書籍500冊の貸出や弁護士による無料法律相談、職業適性検査などを行い、一日ウィズセンターは大いに盛り上がりました。

● 展示・販売の部



各推進センターの活動や女性史などを写真パネルで展示。手工芸品や特産物などの即売も!

● トーク・インタビュー
「男と女のコミュニケーション」

広島修道大学助教授の金杉恭子さんとメンズリブ・フォーラム岡山世話人の市場尚文さんの軽妙な対談。“男と女のコミュニケーション”と題して行われ、「『女らしく、男らしく』と子どもの頃から躾けられると、男の子は“感性”女の子は“挑む心”が失われてしまいます。このような躾は見直さないといけません。」「家事育児をしていると錯覚している男性が多いのが実情。みなさんの身近な男性、夫、子ども、孫たちの生き方のチェックを!」と呼びかけました。



男女共同参画社会作文 優秀賞受賞作品紹介

～あなたとわたしでカラを破ろう～

優秀賞作品紹介 2

「二人の主婦」

倉敷市中庄 松本 崇志

現在の日本で、昔からある「女は家事・育児、男は仕事」という性別役割分担意識にとらわれない、男女がともにつくる社会が求められている。そのためには何が大切か、ここでは恥ずかしながら私の父を例にあげて考えてみる。

父は、仕事場が近いということもあって仕事が終わるとすぐに帰宅する。そして時間帯もちょうど夕飯を準備する時なので、母の手伝いをする。父にとってはもはや、手伝いではなく、自分の仕事になっているのかもしれない。その内容はというと結構本格的で皿や箸を出すだけでなく、料理もする。初めは簡単なものだけだったのが、私が夏休みなどの長期休暇で実家に帰省するたびに、より複雑になり、レパートリーも増えていっている。食後の洗い物も父は母を手伝う。もちろん父の仕事は食事の支度だ

けではない。洗濯物をとりこんだり、その洗濯物にアイロンをかけたりと、主婦宛らの忙しさである。その分、母は自由な時間ができ、趣味のパッチワークやガーデニングを楽しんでいる。

自分の両親を見てわかったことは、お互いの時間をうまく埋めあって自分の時間を効率良く作り、それぞれ楽しんでいるということである。もちろんそのためには、固定的な性別役割分担意識にとらわれることのないようにしなければならない。また、「やって欲しい」と頼まれてからするのではなく、自分の方からやる意識が必要である。この考え方は、育児問題や、高齢社会における介護にも大切なものであると、私は考えている。そして、この両親の無言の教育は、子の私にも確実に浸透している。

地域女性活動推進センターステーション発



あしん女性アクティビティによる農家の嫁不足を女性問題の視点から取り上げた寸劇『阿新へお嫁さんを』の一幕



『あら! おかしゆ。く女が変えよう男が変えよう』まにわ女性セミナーが、学校、職場、家庭での女性男性問題をテーマに繰り広げた寸劇



家庭で眠っている和服や洋服をリフォームした手作り作品22点のファッションショーを行う勝英地域女性活動推進センター

津山地域女性活動推進センターの人権をテーマにした朗読劇『今こそ家庭を』



『目』『フスラン』
男女共同参画社会の実現をめざして

女性就職準備講座報告



ウィズセンターでは、主に子育てを終えた女性の円滑な再就職を促進することを目的に、就業を希望する女性を対象に、岡山市と倉敷市の県下2地区で「女性就職準備講座」を開催しています。
その今年度第2回目を倉敷地区で開催しました。

<1日コース> 11/9 倉敷市役所

講演「働く女性の十か条」
講師：岡山女性少年室 深江満子室長

女性少年室所管の3法（男女雇用機会均等法、育児・介護休業法、パートタイム労働法）についての説明の後、ご自身の体験を交えながら、「健康」、「実力をつける」、「やる気」、「プロに徹する」などの働く女性の心構えについてのお話をいただきました。

受講者アンケートから...

「働き続けたきた人の心の強さがうかがえてその強さを自分に取り入れようと思いました」「とても力のあるお話で、何か頑張ろうという気持ちになりました。働くことをもう一度きちんと考えて、再就職にいかしたいと思います」



<6日コース> 11/24 ~ 11/26, 11/30 ~ 12/2

倉敷労働会館



講座科目：「知っておきたい社会保険と税金」、「ワープロ講習」、「最近の雇用情勢と再就職探し」、「再就職者の体験談発表」、「カラーコーディネート」、「ビジネスセンスアップ」、「リアリティセラピー『ストレスの正体は?』」、「職業適性検査」、「グループ討議」、「働く女性と法律」、「資格の活かし方」、「企業の求める人材とは」

小高順子さんの「再就職者の体験談発表」から...

…私は病院の医療事務を1日5～6時間程度、週に5日位というのが希望で、倉敷のパートバンクに週に2回ずつ位通いましたが、なかなか医療事務の求人がなく、あっても経験が2年以上とか、申込者が殺到して決まらなかったり、現実の厳しさには、驚きと落胆がありました。何も決まらないまま、2か月程過ぎた頃に、センターの方からお誘いを頂いて、去年の6月の1日コースと7日間コースを受けました。受講者の方は年齢や境遇は違いましたが、みんな就職をしたいという共通の目的を持った人達なので、話の内容にも共感したり、納得したりと、みんな和気藹々とした雰囲気の中で講習を受けられとてもいい勉強になったと思っています。普段は出会うことのないような人や、カラーコーディネートなど自分から決して学ぼうとはしなかったことなどの講習は、自分にとってとても有意義な経験だったと思っています。
…（小高さんの就職に講座の受講が役だったことをお聞きし、うれしくなりました。小高さん、発表をどうもありがとうございました。就業援助課：松本）



GUIDE

ウィズセンターは**土・日曜日**も開館しています。
女性はもとより男性もご利用いただけます。
お気軽に、お越しください。



ウィズセンター



770075737

INFORMATION

● ウィズセンターからのお知らせ ●

講座のご案内

「見直そう！メディアの中の男と女」

講師：宮脇初恵（メディアウォッチング香川代表）
メディアウォッチング香川スタッフ

メディアからの情報を見直し、女性の考えを社会に反映させていくために積極的にメディアにアクセスしていきませんか。

- 1回目 … 2/16 (水) 14:00～15:30
「ジェンダーフリーの視点でメディアを読む」
- 2回目 … 2/23 (水) 14:00～15:30
「見て、気づいて、声をあげよう」
- 3回目 … 3/1 (水) 14:00～15:30
「メディアにもっとアクセス、そして発信！」

申込期間 ● 2/6(日) まで

申込方法 ● ハガキに①住所、②氏名、③電話番号、④講座名を明記し、お申し込みください。電話での申し込みも可。ただし全日程が受講できる方のみお申し込みください。

場 所 ● ウィズセンター

受 講 料 ● 無料

募集人員 ● 30名程度

申 込 先 ● 〒700-0821 岡山市中山下1-8-45
NTTクレド岡山ビル17F
TEL:086-235-3307

医師による特別相談はしめます！

ウィズセンターでは2月から、原則として毎月第1土曜日の14:30～17:00の間、医師の金重恵美子（岡山県男女共同参画推進協議会委員）先生のご協力により、からだの相談を行います。（予約制）

……… 詳しいお問い合わせは

総合相談
コーナー TEL:086-235-3310 まで！

ホームページが完成しました！

ホームページ

<http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/danjo/>

メールアドレス

e-mail:danjo@pref.okayama.jp

ウィズセンター 利用の ご案内

開館時間 ● 火～土曜日 ● 9:30～20:00
日・祝日 ● 9:30～17:00

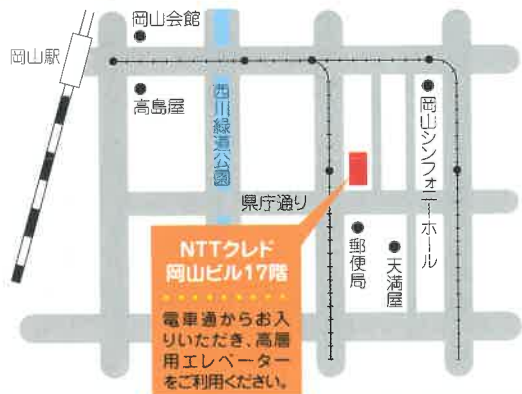
相談員による
総合相談
就業相談 ● 火～土曜日（祝日を除く） ● 9:30～17:00
（受付は16:30まで）
弁護士による特別相談 ● 月2回（予約制）

休館日 ● 月曜日及び年末年始

電 話 ● 086-235-3307（代表）

総合相談 ● 086-235-3310

就業相談 ● 086-235-3309



交通案内 ● 岡山駅から徒歩10分
バス ● NTT電話局前下車すぐ
天満屋バスターミナルから徒歩2分
市内電車 ● 郵便局前下車すぐ

ウィズ第5号（平成12年1月発行）
編集・発行 / 岡山県男女共同参画推進センター
〒700-0821 岡山市中山下1-8-45 NTTクレド岡山ビル17F
TEL (086) 235-3307(代) FAX (086) 235-3306
印刷 / 西尾総合印刷株式会社